令和２年度 三重大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）入学試験問題

試験科目〔専門科目：　日本思想　〕

枚数表示	1/1	受験番号	

1　「日本思想と私」について、論述せよ。

2　次の語のうちから５つを選び、それぞれ簡潔に説明せよ。
（＊順は不同でよいが、解答冒頭に選択した語を明記すること）。

ツクヨミ、根之堅州国、『安楽集』、善導、見性成仏、三帖和讃、格物窮理、『翁問答』、『三酔人経綸問答』、純粋経験、島地黙雷

3　次のＡ・Ｂの二つの引用文に関して、それぞれ
(1)推定される著者と出典を記しなさい。
(2)内容について説明を加えなさい。

Ａ：…父母の孝養のためにとて、一返にても念仏まうしたること、いまださふらはず。そのゆへは、一切の有情は、みなもて、世々生々の父母兄弟なり。いづれもいづれも、この順次生に仏になりて、助けさふらふべきなり。わがちからにてはげむ善にてもさふらはゞこそ、念仏を回向して、父母をもたすけさふらはめ。たゞ自力をすてゝ、いそぎ浄土のさとりをひらきなば、六道四生のあひだ、いづれの業苦にしづめりとも、神通方便をもて、まづ有縁を度すべきなり。

Ｂ：つれづれわぶる人は、いかなる心ならん。まぎるるかたなく、ただ一人あるのみこそよけれ。世に従へば、心、塵に奪はれてまどひやすく、人に交はれば、言葉よその聞きに従ひてさながら心にあらず。人にたはぶれ、物に争ひ、一たび恨み一たび喜ぶ。そのこと定まれることなし。分別みだりに起りて得失やむ時なし。まどひの上に酔へり。酔ひの中に夢をなす。走りていそがはしく、ほれて忘れたること、人皆かくのごとし。いまだまことの道を知らずとも、縁を離れて身をしづかにし、ことにあづからずして心を安くせんこそ、しばらく楽しぶとも言ひつべけれ。「生活・人事・伎能・学問等の諸縁をやめよ」とこそ、摩訶止観にもはべれ。

令和２年度三重大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）入学試験解答用紙

試験科目〔専門科目：日本思想 〕

総得点	

枚数表示	1/3

受験番号	

令和２年度三重大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）入学試験解答用紙

試験科目〔専門科目：日本思想 〕

枚数表示	2/3

受験番号	

令和２年度三重大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）入学試験解答用紙

試験科目〔専門科目：日本思想 〕

枚数表示	3/3

受験番号	